



J613-M0220-02 Rev.A 050922



最初にお読みください

# CentreCOM® GS908M/916M/924Mリリースノート

この度は、CentreCOM GS908M/916M/924M をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 1.1.0

### 2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

#### 2.1 MDI/MDI-X 固定設定

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

MDI/MDI-X 自動切替機能の有効 / 無効を設定する ENABLE/DISABLE SWITCH PORT AUTOMDI コマンドが追加されました。デフォルトは MDI/MDI-X 自動切替機能は有効です。また、MDI/MDI-X 自動切替機能が無効のポートに対して MDI または MDI-X を指定する SET SWITCH PORT コマンドの POLARITY パラメーターが追加されました。デフォルトは MDI-X です。

#### 2.2 QoS 機能

 「コマンドリファレンス」 / 「QoS」

パケットごとに送信時の優先度を变化させる QoS (Quality of Service) 機能が追加されました。本製品は IEEE 802.1p 準拠のプライオリティタグに基づく QoS に対応しています。QoS のモードは、ラウンドロビンに対応し、送信キューの重み付けの設定も可能です。また、ポートプライオリティの設定も可能です。詳細は、コマンドリファレンス「QoS」の章を参照してください。

#### 2.3 ブリッジ MIB 対応

ブリッジ MIB (RFC1493 (dot1dStp グループへの対応、newRoot および topologyChange トラップへの対応は除く)) に対応しました。

### 3 本バージョンで仕様変更された機能

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が仕様変更されました。

### 3.1 スイッチポートの通信モード設定

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

SET SWITCH PORT コマンドの SPEED パラメーターに、10MHAUTO、10MFAUTO、100MHAUTO、100MFAUTO が設定できるようになりました。

## 4 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 4.1 Jumbo フレーム受信時に、Discard カウンターをカウントアップしていたため、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンドで表示される、「FrameTooLongs」「Discards」「Errors」がカウントされていましたが、Discard カウンターをカウントアップしないように修正しました。
- 4.2 本製品のスイッチポートの通信モードを 100M Half または 10M Half に設定し、本製品を経由して、PC 間で FTP によるファイルの転送を行うと、転送レートが下がったり、エラーカウンターがカウントアップされたりしましたが、これを修正しました。
- 4.3 Window Size=0 の TCP パケット受信時に、エラーチェック処理が正しく行われず、本製品がリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 4.4 SHOW INTERFACE コマンドで表示される、インターフェースの MIB 情報の ifMTU に 1500 と表示されていましたが、9196 と表示されるように修正しました。
- 4.5 SET SNMP/SNMPTRAP LISTENPORT コマンドで、SNMP のリスニングポート、または、SNMP トラップのリスニングポートを変更した後にトラップを送信すると、本製品がリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 4.6 「SHOW INTERFACE=0 (または、INTERFACE=port0)」を実行すると、本製品がリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 4.7 SET SWITCH PORT コマンドの COMBO パラメーター、または、CREATE/SET SWITCH TRUNK コマンドの SPEED パラメーターに、入力可能な文字数より長い文字列を入力してもコマンドの実行が可能でしたが、文字列の長さをチェックし実行できないように修正しました。
- 4.8 受信可能なフレームタイプを、VLAN タグ付きフレームのみに設定したタグ付きポートと、タグなしポートを、ポートトラッキングでグループに指定すると、本製品がクラッシュすることがありましたが、これを修正しました。
- 4.9 コマンドプロンプトの後に、「h\* (\*は任意の文字)」を入力後、「スペース」キーまたは「タブ」キーを押し、コマンドの補完機能を実行すると、本製品がリポートすることがありましたが、これを修正しました。

## 5 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.1.0 には、以下の制限事項があります。

### 5.1 ポートミラーリングについて

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

ミラーポートに設定したポートのフォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示すると、VLAN の項目に「0 (VLAN ID=0)」と表示されます。

### 5.2 SNMP MIB について

 **参照** 「コマンドリファレンス」 / 「SNMP」

- Jabber パケットを受信すると、MIB-II の interfaces グループ ifInUnknownProtos がカウントアップします。
- MIB-II の下記のオブジェクトが、カウントアップしません。
  - icmp グループ : icmpInTimestampReps、icmpOutErrors、icmpOutDestUnreachs
  - tcp グループ : tcpActiveOpens、tcpPassiveOpens
  - snmp グループ : snmplnBadVersions、snmplnBadCommunityNames、snmplnBadCommunityUses、snmplnASNParseErrs、snmplnTooBigs、snmplnNoSuchNames、snmplnBadValues、snmplnReadOnlys、snmplnGenErrs、snmplnGetResponses、snmplnTraps、snmpOutTooBigs、snmpOutNoSuchNames

## 6 取扱説明書の補足

同梱の取扱説明書の補足事項です。

### 6.1 サポートする MIB について

 **参照** 「取扱説明書」 108 ページ

ファームウェアバージョン 1.0.0 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、ブリッジ MIB に対応致しました。これにともない、「本製品の仕様」の「サポート MIB」に、ブリッジ MIB (RFC1493 (STP に関する MIB は未サポート)) を追加致します。

## 7 未サポートコマンド

以下のコマンド (機能) はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

SHOW DEBUG

## 8 コマンドリファレンスについて

コマンドリファレンス「CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.1.0 (J613-M0220-03 Rev.B)」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記のマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのマニュアルが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

コマンドリファレンスのパーツナンバー「J613-M0220-03 Rev.B」はコマンドリファレンスの全ページ (左下) に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

